

2011年11月17日
日本銀行山形事務所

最近の経済指標についての東北6県の比較

東北6県の主要な経済指標を比較すると、山形県は震災後の特需効果が一部で剥落しているものの、全般的にみれば、相対的に良い方であると言える。

- 生産指数については、足元やや低下しているものの依然高い指数レベル(107.6)をキープしており、他県、全国と比べて高い。
- 大型小売店売上高(9月)も、震災後の特需が続いている宮城に比べれば低いものの、全国平均と比べればかなり良い状況と言え、全店ベースでは宮城の次に良い。
- 新設住宅着工(9月)が復旧需要が本格化している宮城、岩手と比べ伸びが低いもののプラスを保っていることに加え、有効求人倍率(9月)もレベル的には東北6県で3番目となっている。

—黄色部分は相対的に良い指標。

1. 大型小売店売上高(商業販売統計確報)の前年比:2011年9月

	山形	青森	岩手	宮城	秋田	福島	全国
全店ベース	+0.9	▲2.3	▲6.5	+6.7	▲4.2	▲0.6	▲2.4
既存店ベース	▲0.1	▲3.3	+0.6	+7.9	+0.2	+2.8	▲3.6

—経済産業省作成、全店ベース(既存店+新設店)及び既存店ベースの前年比、単位:%。

2. 新設住宅着工戸数の前年比:2011年9月

	山形	青森	岩手	宮城	秋田	福島	全国
新設住宅着工戸数	+3.1	▲24.9	+44.4	+17.5	+2.1	▲22.4	▲10.8
うち持家	+4.0	▲32.0	+4.7	+37.6	+15.6	▲9.8	▲9.7

—国土交通省「建築着工統計調査報告(平成23年8月)」。前年比、単位:%。

3. 鉱工業生産指数の季節調整済前月比と原計数前年比:2011年8月(各県は速報、全国は確報)

	山形	青森	岩手	宮城	秋田	福島	全国8月(9月)
季節調整済指数(2005年=100)	107.6	105.6	90.5	63.7	89.9	86.7	93.6(90.5)
季節調整済前月比	▲1.0	+3.6	+6.6	+4.8	+0.8	+1.0	+0.6(▲3.3)
原計数前年比	+5.5	+4.3	▲5.4	▲27.8	▲2.0	▲7.0	+0.4(▲3.3)

—経済産業省「鉱工業生産(2011年9月確報分)」、各県「鉱工業生産指数(平成23年8月)」。単位:%。

4. 有効求人倍率(季調済み)(新規学卒者を除きパートタイムを含む):2011年9月

	山形	青森	岩手	宮城	秋田	福島	全国
有効求人倍率	0.65 (▲0.01)	0.43 (0.00)	0.59 (+0.02)	0.74 (+0.05)	0.57 (0.00)	0.68 (+0.04)	0.67 (+0.01)
新規求人倍率	1.07 (▲0.11)	0.67 (+0.03)	1.08 (+0.05)	1.55 (+0.19)	0.99 (+0.08)	1.24 (+0.19)	1.11 (+0.06)

—厚生労働省「一般職業紹介状況(平成23年9月分)」及び各県労働局作成。()内は前月との差、倍。

5. 倒産:2011年9、10月

		山形	青森	岩手	宮城	秋田	福島	全国
9月	件数、件 (前年比、%)	5 (+25.0)	7 (▲12.5)	1 (▲75.0)	5 (▲44.4)	6 (+50.0)	8 (▲20.0)	1,001 (▲9.1)
	負債額、億円 (前年比、%)	9.4 (+2.0)	7.1 (▲85.5)	0.6 (▲88.9)	270.7 (20.6倍)	2.3 (▲70.1)	29.7 (▲3.9)	2,123.1 (▲85.0)
10月	件数、件 (前年比、%)	6 (▲50.0)	6 (+20.0)	6 (3.0倍)	7 (▲53.3)	1 (▲80.0)	6 (▲14.3)	976 (▲14.0)
	負債額、億円 (前年比、%)	2.9 (▲53.6)	5.4 (▲26.1)	3.9 (+75.4)	3.3 (▲84.2)	0.6 (▲74.3)	57.0 (+43.5)	1,558.8 (▲70.0)

—東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」より作成、負債総額1,000万円以上の倒産を集計した件数、負債額。

6. 短観・業況判断D.I.(全産業):2011年9月調査

	山形	青森	岩手	宮城	秋田	福島	全国
業況判断D.I. (全産業)	▲2	▲4	▲3	+3	▲10	▲4	▲9
6月対比	+20	+14	+21	+24	+8	+23	+9

(注)D.I.とは、「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を引いた値。

—日本銀行本支店公表の「日本銀行短期経済観測調査(9月)」より作成。

以上